

2019年5月29日

アムンディ・ジャパンはTCFDコンソーシアムへ参画、 ESGリサーチ部長が企画委員に指名されました。

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）は、2019年5月27日に発足したTCFDコンソーシアムへ参画するとともに、その執行機関である企画委員会の委員として、当社ESGリサーチ部長 近江静子が指名され、就任したことをお知らせいたします。

アムンディ・ジャパンは、2015年にESGリサーチ部を設立以来、環境省、経済産業省、金融庁など政府が主導する様々なイニシアチブに積極的に参加しています。

アムンディ・グループCEOのイブ・ペリエは、グリーン経済に向けたイノベーションを協議することを目的として首相の提唱により発足したICEF（Innovation for Cool Earth Forum）に参加、また11月に、同じく首相の指示により設置されたパリ協定期長期成長戦略懇談会にも外部有識者として参加しました。

加えて、アムンディ・ジャパンは昨年、経産省のTCFD研究会に参加し日本企業の気候変動情報の開示を促進するTCFDガイダンスの作成に加わりました。このガイダンスは2018年12月に発行されました。また本年、TCFD提言に賛同する企業や金融機関等が一体となって取組を推進し、企業の効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取組について議論する場として設立されたTCFDコンソーシアムに参画、5月27日に開催された第1回コンソーシアム総会において、当社ESGリサーチ部長 近江静子は、金融業界を代表するコンソーシアムの企画委員会のメンバーとして指名され、就任いたしました。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）は、FSB（金融安定理事会）の主導で2015年に設立されました。アムンディは、設立時からTCFDのサポーターになっております。日本におけるTCFDサポーターの数は、162社に増え、日本はイギリスとアメリカを超えるTCFDの最大の貢献国となりました。

アムンディ・ジャパンは、今後とも企業と金融機関の間の建設的な議論を通じてグリーンファイナンスを推進してまいります。

アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点^{*1}を通じて約 180 兆円^{*2}の資産を運用する、欧州 No. 1^{*3}、世界トップ 10^{*3}の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

信頼こそ、私たちの資産。 アムンディ

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2018年12月末日現在。約1兆4,250億ユーロ、1ユーロ=127円で換算
- 3 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2018年6月版、2017年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室
e-mail：pr@jp.amundi.com 直通：03-3593-5700
R1905127